

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871400259
法人名	有限会社 和家
事業所名	グループホーム蘭
所在地	愛媛県西予市宇和町河内 1 6 6 - 1
自己評価作成日	平成 2 5 年 1 2 月 2 日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年1月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者さんが、ご家族や地域の方たちとの繋がりを大切にしながら、その人がその人らしく過ごせるように、また、可能な限り力を発揮出来る場面をより多く持てるよう支援しております。特に地域の行事には参加させていただき、保育所や小学校との交流を大切にしております。また、天気の良い日には畑や花の手入れ、散歩がてらに近くのお店に買い物に出かけるなどして楽しみや役割を見つけながら、家庭的な雰囲気の中で、その人がその人らしく「尊厳のある生活」を、ゆったりとご本人にペースで過ごせるように職員が一丸となって努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

法人代表者は、地域貢献の思いを込めて「地域になくはないホーム」を作ることを目指し、事業所を開設しておられ、ユニット増設の際には、地元の方が優先的に利用できるようすすめられた。事業所は、地域行事を大切にしている。地域行事の際には、地域の文化祭時には、利用者の短歌を出展されたり、バザーや餅まき等を楽しまれた。又、地域の盆踊りや牛鬼まつり等も、利用者が楽しみにされている行事である。居間から利用者の目の高さで保育園の園庭を眺めることができ、窓越しに園児とふれ合っておられる。事業所の畑で一緒にさつま芋畑をして交流している様子は、愛媛新聞にも取り上げられた。
2ユニットが併設しており、中庭には畑や芝生のスペースがあり、季節の良い時期にはバーベキュー等も楽しんでいる。第三日曜日に行う「茶らんぼらん」は、ユニット間にある地域交流ルームにて、2ユニット合同でおやつを楽しみながら交流する機会であり、とうもろこしを焼いて食べたり、かき氷を作ったり、時には、運営推進会議に協力して下さっている地域の方が、抹茶を点ててくださることもある。調査訪問時、窓から保育園の園児が園庭で雪遊びをしている様子がよく見え、利用者は窓辺で職員と一緒に笑顔で眺めておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印	取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム蘭

(ユニット名) 2棟

記入者(管理者)

氏名 源 佳代

評価完了日 25年 12月 2日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に沿ったケアを目標にしているが、新しい職員も多く、まだ、全員に浸透していない。	事業所は、昨年5月に1ユニットを増設され、新しい職員も増えている。職員はもちろん、ご家族や地域の方達にも機会あるごとに事業所理念を伝えて、今後はさらに、チームで利用者を支えていけるよう、取り組まれてほしい。
			(外部評価) 開設時に、法人代表者が作成された「生き生きさせてあげる輝かせてあげる」「職員もケアすることにより人間的にともに成長する」等、5項目の事業所理念は、新人研修時に説明されており、職員会議時には理念を覚えているか等を確認する機会を持っておられる。又、管理者は、職員が理念とケアをつなげて考えられるよう、日々のケアの場面を捉えて話すよう努めておられる。職員によっては、理念をカードに書いて携帯している方もおられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 小学校・保育園・公民館が近隣にあり、行事等積極的に参加し交流している。	
			(外部評価) 法人代表者は、地域貢献の思いを込めて「地域になくはないホーム」を作ることを目指し、事業所を開設しておられ、ユニット増設の際には、地元の方が優先的に利用できるようすすめられた。事業所は、地域行事を大切にして取り組まれており、地域の文化祭時には、利用者の短歌を出展されたり、バザーや餅まき等を楽しまれた。又、地域の盆踊りや牛鬼まつり等も利用者が楽しみにされている行事である。居間から利用者の目の高さで保育園の園庭を眺めることができ、窓越しに園児とふれ合っておられる。事業所の畑で一緒にさつま芋堀をして交流している様子は、愛媛新聞にも取り上げられた。事業所では今後、地域の認知症ケアの向上を目指して、認知症についての講演を行う等、情報発信に取り組んでいきたいと考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域行事に参加したり、小学校・保育園との交流、また、運営委員の方々を通じて、グループホームに対する理解を示していただいていると思う。しかし、まだまだ不十分で、地域の方々に対する発信は少ない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営委員会での意見は職員会で報告を受け、活かすよう努められている。</p> <p>(外部評価) 運営推進委員を決めて、会議をすすめておられる。法人代表者も会議に参加し挨拶をされており、事業所から利用者の状況や活動を報告して、意見交換を行っておられる。参加者は、地域の情報や新聞等から得た情報を教えてくださったり、事業所の取り組みへの提案等も活発に出されている。新人職員紹介の機会も作っておられ、参加者の前で「事業所に勤めるようになり、自分の親にもやさしく接することができるようになった」ことを話された職員もいる。ご家族代表の方で、「会議に参加することで、他の利用者の方ともお話ができて参考になる」と話された方もある。地域の方は「忙しい時にはお手伝いに来ますので声をかけてください」と言ってくれている方がいる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営委員会に市の職員も参加され、協力関係をきずくようにしている。</p> <p>(外部評価) 2ヶ月ごとに介護相談員の訪問があり、利用者とお話をして希望や悩み事等を聞いてくれている。運営推進会議の災害について話し合った際には、市の担当者から「原子力災害マニュアル」の作成について指導いただいた。地域密着型サービス協会が主催する職員研修には、積極的に参加できるよう取り組まれている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日中は玄関・門扉等施錠をせず、身体拘束にならないよう、工夫し対応している。</p> <p>(外部評価) 転倒が気になる方は、畳を敷いた上に布団を敷き、休めるようにされている。「帰りたい」気持ちが強く、不安定な状態の兆候がみられる時には、得意な家事をお願いしたり、ドライブ等して気分転換できるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待に関しては、注意を払い、防止に努めているし、ないと思う。ただ 開所して数ヶ月がたち、慣れてきたせいか、言葉使いに注意をしなければならぬと思う時がある。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会で学んではいるが、事例がないため全ての職員にはまだ満足に伝わっていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が契約に沿って説明し、納得していただいていると思う。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置、また、契約時の説明の時に市町村・外部団体の窓口があることを伝えている。また、面会時の話し合い等で個別に聞く機会を設けている。受けた意見は職員会において全職員も共有している。	事業所では、家族会時さらに、ご家族だけで話し合う機会を作り、事業所サービスへの要望を出しやすいよう、取り組みたいと考えておられる。協力的なご家族も多く、ご家族とともに利用者を支えていくためにも、ご家族と一緒に活動したり、時には、勉強するような機会も工夫されてみてはどうだろうか。
			(外部評価) ご家族同士の親睦やご家族と利用者が一緒に楽しめるよう、年に2回、冬と春に家族会を行っておられる。冬は、クリスマスと忘年会を兼ねて、うどん作り等、楽しい企画を用意して、ご家族同士、又、利用者とも話しやすい雰囲気を作っておられる。春は、お弁当を持って出かけておられる。ユニットが増設して、ご家族から「職員の異動を頻繁にしてほしくない」というような意見もあったようだ。ご家族には、事業所全体の活動を載せた便りと、利用者個別の様子を伝える便りを送付されており、ご家族に好評である。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員会で提案や意見など聞いていただいている。それ以外でも聞いていただける職場環境で、できることは改善していただいている。	
			(外部評価)	
			法人代表者は毎日来られており、利用者個々に声をかけながら様子を見てくれている。又、職員からの意見等も聞いてくれている。土曜日の午後から職員が集まり、「あのね」の時間を持っており、個々に日頃気付いたこと等を話し合い、ケアに採り入れるようにされている。職員は、地域密着型サービス協会が主催する相互研修に参加し、他事業所に訪問して事業所と違う取り組みを知り、勉強をされた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			希望休など、家庭の事情を考慮してもらっている。	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修を公示し、学習の機会をあたえてもらっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			相互研修・外部の研修への参加を推奨され、できるだけ参加している。自施設にないよいところや 気づきを自施設にいかせるよう報告している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所前に家族や関係者から情報を得、入所後は利用者様とのコミュニケーションの中で得た情報を交換しあい、その方にあったケアを共有し 安心をしていただくよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族様の本音を聞くことは少ないが、面会時には声かけし、要望等言い安い場になるよう心がけて対応できるよう努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ニーズにあった見極めは難しいが、ご家族様の話しや利用者様の様子を観察し、状況にあった対応を心がけている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 掃除・調理・草引き・収穫など、共にできることを努めてもらい、存在感や達成感を共に味わって頂く様努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 毎月近況報告を送っており、利用者様の思いを大切にしながらも家族様の思いも考慮できるよう努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの散髪や、馴染みの店、地域の行事に参加して馴染みの方々と会話できるよう、できる限り努めている。 (外部評価) ドライブの際、ご自宅の近くを通ったり、「帰りたい」という利用者につき添ってご自宅に戻り、庭でお話しながら過ごされることもある。昼食時には、地元の地名等が会話の中に出て会話も弾んでおられた。親戚やご家族等に年賀状を出したり、電話で話せるよう支援されている。ユニットによっては、ほとんどの利用者がお正月をご自宅でご家族と過ごされたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係やその個性を把握し、日常の中で共同で作業を行っていただいている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 見舞い・面会を継続的にしている。また、新しい職員はそのような経験がないが、そうなったときは関係を絶たないようにしたいと思っている。	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) その都度職員で話しあいできる限り本人の思いを実現するようにしている。 (外部評価) 増設したユニットには、納得いかないまま入居に至ったような利用者もおられ、ご自宅のことが気になる利用者も複数おられる。職員は、利用者によく寄り添いお話をお聞きしたり、気分転換できるよう支援されたり、時には、ご家族に気持ちをお伝えする等して、ご自宅で過ごす時間を作る等、協力いただくようなこともある。	管理者は、利用者が「何を望んでいるか、希望等を知りたい」と考えておられる。さらに、利用者一人ひとりについて、現在の暮らしの希望やこれまでの暮らしぶり、又、今後の暮らしの希望等の情報を集め、利用者らしい暮らしを続けられるような支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者様や家族様との会話で知りえたり、日々の記録により把握するようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 申し送り・記録・連絡帳を読み、利用者様の様子を見ながら把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	日々の会話や観察・気付きから得た情報を共有し、職員会などで介助員一人一人の意見気付きを参考にして 現状に沿った計画になるよう努めている。 職員で話し合い介護計画を作成し、ご家族に意見を聞くようになっている。毎月、職員会時にモニタリングを行い、見直しにつなげておられる。記録用紙には、介護計画の支援内容を記入して日々の支援につなげる仕組みを作っておられる。今後は、ご家族も一緒に利用者の暮らしやケアについて話し合うような機会を作り、ご家族と一緒に利用者を支えていけるよう、取り組みをすすめていかれてはどうか。	
			(外部評価)		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	詳しく個別記録し、申し送りにより共有し、介護計画の見直しに活かしている。	
			(外部評価)		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	できることは臨機応変に対応している。	
			(外部評価)		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	小学校・保育園・店舗等を地域資源として活用している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>以前よりのかかりつけを望まれる方はそれに随意し、地元の医院に家庭医としての関わりをもってもらっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(外部評価)	
			<p>近くにある医院がかかりつけ医になっており、往診にも来てくれるようになっていいる。調査訪問時、職員は、処方された薬の小袋にご自分で名前を書けるよう支援されていた。食前に口腔体操を行ったり、3時のおやつの前には音楽に合わせて体操を行っておられる。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	(自己評価)	
			<p>24時間看護師への報告体制が整っており、対応してもらっている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>看護師が中心になって情報交換をしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>重度化に向けて 家族様と話し合いながら、信頼関係を築いている途中である。</p>	
			<p>この2年の間には、看取りを支援した事例はないが、事業所では利用者やご家族の希望に応じて支援できるよう、体制を作っておられる。現在、「ここで」と希望される利用者やご家族も多いようだ。増設されたユニットでは、ご家族や利用者との信頼関係作りをすすめ、じょじょに看取りの希望等についても聞き取りたいと考えておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 1年に一度、消防署より救急法の講習があり知識を得ているが、急変や自己発生時に適切に対応できるか、不安である。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は月に一度行われているが、夜間時の災害に不安がある。また 地域との協力体制はまだ、十分ではない。	
			(外部評価) 運営推進会議のメンバーに利用者役になってもらい、職員が避難誘導する訓練を行ったり、見学していただき意見をうかがった。地域の方からは、「いざという時に誰から連絡が入り、どう動いたらよいか」と質問があり、協力が得られるよう、具体的な話し合いを行われた。避難訓練を実施しての課題は、近々行う職員会議時に話し合い、方策を検討する予定になっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 理念に従い留意しているが、おおきな声でのトイレ誘導など、親しくなるにつれ、なれた会話の中に失礼なことを言っている時がある。	
			(外部評価) ご夫婦隣同士で座れるよう座席に配慮されたり、地元からの利用者で以前からの関係を気にされるような方にも気を配り対応されている。家族会時、ご家族の参加が難しい場合は、担当する職員が終始利用者に付き添い、さみしさをカバーできるよう努めておられる。夜間等、「何でここにおるんやろ」と不安を口にする方には職員がゆっくりお話を聞き、寄り添うようにされている。職員が利用者の手を引いたり、側で見守りながら、できるだけ歩けるような支援に努力をされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 衣服を選んでもらったり、また、買い物時好きなものを選びやすいよう支援している。ご自分から主張されない利用者様にたいしては 選択できるような答を複数用意するなど 気をつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にしよう努めているが、都合に あわせてもらっていることもあり、不十分と思う。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 出張美容にきていただいたり、利用者様の希望にあわせて 衣類を選んだり、整容介助を行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜の収穫、下ごしらえ、調理、盛り付け、味見、食器洗い、 など、共にしてもらっている。仕事の手順、役割分担を考え 皆が役割をもてるよう支援している。	
			(外部評価) 食材は配達してもらうようになっており、庭の畑でできた野菜 等も使って、職員と利用者でメニューを考ながら食事を作っ ておられる。台所は、オープンキッチンで調査訪問時には、 利用者も野菜を切ったり配膳したり、食後には食器を洗う方 が複数おられた。皆が席に着くと利用者のお一人が「いた だきます」と挨拶のかけ声をかけ、食事が始まった。ゆっく り食事時間を取っておられ、職員は「カレーもつかけますか」と 利用者個々に声をかけて、おかわりをすすめておられた。お 誕生日には、お好きなメニューでお祝いをされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量の記録をとおして、気配りしているが、栄養 バランスは細かくできていない。また、その日の健康状態に より、時間をずらしたり、個室で食べたり、おにぎりにしてたべ やすいようにしたりしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 本人の希望や習慣に合わせて対応しているので毎食後は 行っていないが、夕食後は全ての利用者様に声かけ・実施 している。また、お茶の摂取やうがい等適宜行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 定期的に声かけを行い、個々に検討しながら対応しているが、把握しきれていない面がある。	
			(外部評価) 入居当初、下を向いて歩行する様子が見られた方には、居室のベッドの足もとからトイレまで、床に目印の緑色のテープを貼って、夜間にもご自分でトイレに行けるように工夫された。トイレには、利用者個々に合わせ持てるように、暮盤の目になっている手すりが設置されていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動・水分・食物に気をつけている。また、腹部のマッサージを行っている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 2日に一度を基本として希望・体調にあわせて入浴してもらっている。無理じいはせず、また毎日入られる方もある。	
			(外部評価) 事業所で最高齢の方はお風呂がお好きで、希望もあり毎日入浴を支援されている。調査訪問時には、昼食後、お話の中で職員は利用者に入浴の有無を聞いておられ、入浴前には、ご自分で準備をする方や、職員が「居室に入って入浴の準備をしても大丈夫ですか」と聞いて準備をされていた。利用者は、みな浴槽で温まれるように支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中はなるべくおきていただいて、夜間眠れるよう支援している。が、好きな時に自由に自室でくつろがれるよう支援している。夜間眠れない方には、湯茶等でリラックスしていただいたり、話をしたりして安眠できるよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 副作用や用量は覚えきれない。「薬の説明書」を利用し対応している。また、看護師からの情報提供により変化についても把握している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 畑に出たり、軽作業をつうじて退屈されないように努め、個々の散歩や役割の提供等支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望により買い物に出かけたり、ドライブや散歩等、天気の良い日には外に出れるよう支援している。	
			(外部評価) 市内の道の駅に出かけたり、古い街並みに行灯をともし「卯のぼたる」には、事業所からも行灯を出して、皆で見に行かれている。	職員は「利用者といろいろなところに出かけて、いろいろなものを見せてあげたい」と話しておられた。利用者個々の「出かけたい」という意欲を支援していけるような取り組みをすすめていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人に応じて財布をもたれ、見守りのなか、買い物され支払いをしていただいている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族様にも協力していただき、できるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節に応じた飾り物・空調にも注意しエアコンなど利用し温度調整をして居心地よく過ごせるよう また清潔をたもてるように努めている。</p> <p>(外部評価) 玄関を入ったところには、利用者の方が花器に剣山でお正月のお花を生けてくださっていた。居間には神棚をつくっておられ、お正月には鏡餅を供える等された。2ユニットが併設しており、中庭には畑や芝生のスペースがあり、季節の良い時期にはバーベキュー等も楽しまれている。第三日曜日に行う「茶らんぼらん」は、ユニット間にある地域交流ルームにて、2ユニット合同でおやつを楽しみながら交流する機会であり、とうもろこしを焼いて食べたり、かき氷を作ったり、時には、運営推進会議に協力して下さっている地域の方が、抹茶を点ててくださることもある。調査訪問時、窓から保育園の園児が園庭で雪遊びをしている様子がよく見え、利用者は窓辺で職員と一緒に笑顔で眺めておられた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 交流室・談話室・テレビ前のソファー等自由につかわれている。ホールを利用され、展示物をみたり、会話を楽しまれている。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 家族の方と相談し馴染みのあるものは持ってきていただくよう声かけを行っているので少しずつ衣類や写真など増えつつある。また、居室に好みのおやつを持たれているので、衛生面に気配りをしている。</p> <p>(外部評価) クリスマス時期に、地域の小学4年生の児童が持って来てくれた手作りのツリーを大切に飾っている居室も見られた。仏壇を持って来られている方は、利用者がお水を替えたり、職員がお茶を用意して供えたりされている。お花がお好きな利用者には、ご家族が毎週新しい花を持参しておられ、調査訪問時には、白いカスミソウとピンクのカーネーションが生けてあった。利用者へ届いた年賀状も置いておられた。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの力を理解し、必要に応じて、自立・安全のため手摺りを借り入れたり ベットを布団にしたり、トイレの場所が分り易いよう工夫をしている。</p>	